

学 習 の 指 針 (シラバス)

教科名	技 術	実施学年	3 年	週時数	1 時間
-----	-----	------	-----	-----	------

1 学習の目標等

学習の目標	エネルギー変換に関する基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるとともに、エネルギー変換に関する技術が社会や環境に果たす役割と影響について理解を深め、それらを適切に評価し活用する能力と態度を育成する。
使用教科書・副教材等	「技術・家庭 技術分野」開隆堂、デジタルエコキューブ

2 (1) 学習計画及び評価方法等<6月1日現在> (カッコ内は後期履修の場合)

月	学習内容	学習のねらい	実習	評価
6月 (10月)	・わたしたちの生活とエネルギー変換	・エネルギー資源やエネルギー変換のしくみを理解させるとともに、エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響について関心を持たせる。		・エネルギー変換に関する技術が果たす役割と影響についての問題に目を向け、その解決方法を考えることができる。
6月 (11月)	・電気エネルギーの利用	・電源の種類や特徴、電気エネルギー変換して利用するためのしくみや変換方法を理解させる。		・社会で利用されている電源の種類や特徴についての知識を身に付けている。
7月 (12月)	・動力の利用	・動力伝達のしくみや効率についての知識を身につけさせる。		・動力を効率よく伝えるしくみを知り、それぞれの特徴を理解することができる。
7月 (1月)	・エネルギー変換の実際	・機器の点検すべき箇所を見付け、保守点検と事故の防止ができる。		・漏電、感電、過熱及び短絡による事故を防止できる。
9月 (2月)	・製作品の構想と設計・製作	・エネルギー変換を利用した製作品の構想をまとめ、目的にあった製作品を製作する。	デジタルエコキューブの製作	・省エネルギーや使用者の安全などに配慮して設計・製作しようとしたり、新しい発想を生み出し活用しようとしたりしている。

10月 (3月)	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・持続可能な社会をめざすために、これまで学んだエネルギー変換に関する技術の評価し、活用しようとする。		・持続可能な社会を達成するために、学習したことを活かし、エネルギー変換に関する技術をどのように利用していけばよいか、適切な方法を決定している。
-------------	----------------------	--	--	---

3. 評価について

(1) 評価の観点及び内容・評価材料

	評価の観点及び内容	評価材料
生活や技術への 関心・意欲・態度	エネルギー変換に関する技術に関わる倫理観を身につけ、知的財産を創造・活用しようとしている。	ワークシートへの記述 ☆授業での実習の態度
生活を工夫し創 造する能力	よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。	☆授業で作成した作品への工夫
生活の技能	製作品の組立て・調整や点検ができる。	☆授業で作成した作品の制作技能
生活や技術につ いての知識・理解	組立てや調整に必要な工具や機器の適切な使用方法についての知識を身に付けている。	定期テスト

☆印の項目は、授業を欠席した場合評価に含めることができない場合があります。

(2) 観点別評価からの評定の算出の仕方

A=2点、B=1点、C=0点として4つの観点別評価を合計し、下の表に照らして評定を算出します。

評定	観点別評価の合計
5	12点
4	10～11点
3	7～9点
2	5～6点
1	4点